

(第一紙) T30p607a18~

1

2 瑜伽師地論卷第五十六 弥勒菩薩說 三藏法師玄奘奉 詔譯

3 攝決擇分中五識身相應地意地之六

4 問諸蘊分位有幾種答有多種謂得无¹⁸想定

5 等心不相應行廣說如前

6 問依何分位建立得 種答依因自在

7 現行分位建立得此復三種謂種子成就自

8 在成就現行成就

9 問依何分位建立无¹⁹想定滅盡定及无¹⁹想⁹此

10 三各有幾種答依已離遍淨¹貪未離上貪出

11 離想作意為⁸先名滅分位建立无⁹想定此復

12 三種自性者唯是善補特伽羅者在異生相

13 續起者先於此起後於色界第四靜¹⁰慮當受

14 彼果依已離无¹¹所有處貪止息想作意為¹²先

15 名滅分位建立滅盡定此復三種自性者唯

16 是善補特伽羅者在聖相續通學无¹³學起者

17 先於此起後於色界重現在前託色所依方

18 現前故此據未建立阿賴邪¹⁴識教若已建立

19 於一切處皆得現前依已生无¹⁵想有情天中

20 名滅分位建立无¹⁶想此亦三種自性者无¹⁷覆

21 无¹⁸記補特伽羅者唯異生生¹⁹彼非諸聖者起

- 1 大正〔彌〕
- 2 大正〔無〕
- 3 大正〔此復幾〕
- 4 大正〔無〕
- 5 大正〔無〕
- 6 大正〔天〕あり。
- 7 大正〔淨〕
- 8 大正〔爲〕
- 9 大正〔無〕
- 10 大正〔靜〕
- 11 大正〔無〕
- 12 大正〔爲〕
- 13 大正〔無〕
- 14 大正〔耶〕
- 15 大正〔無〕
- 16 大正〔無〕
- 17 大正〔無〕
- 18 大正〔無〕
- 19 大正〔性〕

22 者謂能引發²⁰无想定思能感彼異熟果後想
23 生已是諸有情便從彼沒

(第一紙) T30p607b15~

- 1 問依何分位建立命根此復幾種答依業所
- 2 引異熟住時決定分位建立命根此復三種
- 3 謂定不定故愛非愛故歲劫數等所安立故
- 4 問依何分位建立衆同分此復幾種答依諸
- 5 有情相似分位立衆同分此復三種所謂種
- 6 類同分自性同分工巧業處養命同分
- 7 問依何分位建立生此復幾種答依現在分
- 8 位建立生此復三種所謂剎那生相續生分
- 9 位生問依何分位建立老此復幾種答依前
- 10 後分位建立老此復三種謂異性老轉變老
- 11 受用老問依何分位建立住此復幾種答即
- 12 依生分位建立住此復三種謂剎那住相續
- 13 住立制住問依何分位建立²¹无²²常此復幾種
- 14 答依生已壞²³滅分位建立²⁴无²⁵常此復二種謂
- 15 壞²⁴滅²⁵无²⁶常轉變²⁷无²⁸常
- 16 問依何分位建立名身此復幾種答依假言
- 17 說分位建立名身此復三種謂假設名身實
- 18 物名身世所共了不了名身如名身句身文
- 19 身當知亦²⁹尔此中差別者謂標句釋句音所
- 20 攝字所攝
- 21 問依何分位建立異生性此復幾種答依未
- 22 生起一切出世聖法分位建立異生性此復
- 23 三種謂欲界繫色界繫³⁰无³¹色界繫
- 24 問依何分位建立流轉此復幾種答依因果

20 大正 [無]
 21 大正 [無]
 22 大正 [壞]
 23 大正 [無]
 24 大正 [壞]
 25 大正 [無]
 26 大正 [無]
 27 大正 [無]
 28 大正 [爾]
 29 大正 [無]

(第二紙) T30p607c12~

- 1 相續分位建立流轉此復三種謂剎那展轉
- 2 流轉生展轉流轉染汚清淨³⁰展轉流轉問依
- 3 何分位建立定異此復幾種答依法別相分
- 4 位建立定異此復三種謂相定異因定異果
- 5 定異問依何分位建立相應此復幾種答依
- 6 因果相稱分位建立相應此復三種謂和合
- 7 相應方便相應稱可道理所作相應問依何
- 8 分位建立勢速此復幾種答依迅疾流轉分
- 9 位建立勢速此復三種謂諸行勢速士用勢
- 10 速神通勢速問依何分位建立次第此復幾
- 11 種答依一一流轉分位建立次第此復三
- 12 種謂剎那流轉次第內身流轉次第成立所
- 13 作流轉次第問依何分位建立時此復幾種
- 14 答依行相續不斷³¹分位建立時此復三種謂
- 15 去來³²今問依何分位建立方此復幾種答依
- 16 所攝受諸色分位建立方此復三種謂上下
- 17 傍問依何分位建立數此復幾種答依法齊
- 18 量表了分位建立數此復三種謂一數二數
- 19 多數問依何分位建立和合此復幾種答依
- 20 所作支无³³闕分位建立和合此復三種謂集
- 21 會和合一義和合圓滿和合問依何分位建
- 22 立不和合此復幾種答與和合相違應知不
- 23 和合若分位若差別
- 24 問於諸蘊中何義幾蘊是有色答即以此性

(第四紙) T30p608a08~

- 1 還說此性色自性義是有色義一蘊是有色
- 2 問何義幾蘊是有見答眼所行義一蘊一分
- 3 是有見問何義幾蘊是有對答展轉相觸據
- 4 處所義及龜大義是有對義龜大義者當知
- 5 遠離三種微細此三微細如前應知一蘊一

³⁰ 大正「淨」

³¹ 大正「斷」

³² 大正「來」

³³ 大正「無」

- 6 分是有對問何義幾蘊是有漏答334 僂重所隨334
- 7 非彼對治煩惱所生義一切一分是有漏復
- 8 有有漏義謂若是處煩惱能生四種過失是
- 9 有漏義何等名為335 四種過失一不寂靜336 過失
- 10 二內外變異過失三發起惡行過失四攝受
- 11 因過失當知初過失纏337 現行所作第二過失
- 12 諸煩惱事隨338 逐煩惱所作第三過失煩惱因
- 13 緣所作第四過失引發後有所作問何義幾
- 14 蘊是有為339 答從因已生及應生義一切是有
- 15 為340 問何義幾蘊是有諍答多隨341 瞋恚自在轉
- 16 義一切一分是有諍問何義幾蘊是有愛味
- 17 答多隨342 愛見自在轉義一切一分是有愛味
- 18 問何義幾蘊是依耽嗜答多隨343 欲貪自在轉
- 19 義一切一分是依耽嗜問何義幾蘊是世間
- 20 答戲論依義一切一分是世間問何義幾蘊
- 21 是隨344 界答二界所攝世間義一切一分是隨345
- 22 界問何義幾蘊是過去答已受用因果義一
- 23 切是過去問何義幾蘊是未來346 答未受用因
- 24 果義一切是未來347 問何義幾蘊是現在答已

(第五紙) T30p608b03~

- 1 受用因義及未受用果義一切是現在問何
- 2 義幾蘊是內答六處并屬348 彼義一蘊一分四
- 3 蘊全是內問何義幾蘊是外答內相違義一
- 4 蘊一分是外問何義幾蘊是僂答不光潔積

34 大正〔隨〕
 35 大正〔爲〕
 36 大正〔靜〕
 37 大正〔纏〕
 38 大正〔隨〕
 39 大正〔爲〕
 40 大正〔爲〕
 41 大正〔隨〕
 42 大正〔隨〕
 43 大正〔隨〕
 44 大正〔墮〕
 45 大正〔墮〕
 46 大正〔來〕
 47 大正〔來〕
 48 大正〔屬〕

- 5 聚相增長義一切一分是鹿問何義幾蘊是
- 6 細答鹿相違義一切一分是細問何義幾蘊
- 7 是劣答¹⁶无¹⁶常苦不²⁰淨²⁰染污義一切一分是劣
- 8 問何義幾蘊是妙答劣相違義一切一分是
- 9 妙問何義幾蘊是遠答處所去²¹來²¹時方隔越
- 10 義一切一分是遠問何義幾蘊是近答遠相
- 11 違義一切一分是近
- 12 問何義幾蘊是欲界繫答於此間生未得對
- 13 治或得已出三時現行義一切一分是欲界
- 14 繫問何義幾蘊是色界繫答已得色界繫對
- 15 治若入彼定或復生彼未得上對治或得已
- 16 出三時現行義一切一分是色界繫問何義
- 17 幾蘊是¹⁶无¹⁶色界繫答已得²⁰无²⁰色界繫對治若
- 18 入彼定或復生彼未得上對治或得已出三
- 19 時現行義一切一分是¹⁶无¹⁶色界繫復有差別
- 20 謂¹⁶輕¹⁶安俱¹⁶二摩地及彼眷¹⁶属¹⁶并彼果法所不
- 21 攝義是欲界繫²¹属²¹色煩惱與彼相違所攝義
- 22 是色界繫離色煩惱彼所攝義當知是²⁰无²⁰色
- 23 界繫
- 24 問何義幾蘊是善答能感當²⁰來²⁰樂果報義及

(第六紙) T30p608b27~

- 1 煩惱苦永²⁰斷²⁰對治義一切一分是善問何義
- 2 幾蘊是不善答能感當²¹來²¹苦果報義及能發
- 3 起諸惡行義一切一分是不善問何義幾蘊

49 大正〔無〕
 50 大正〔淨〕
 51 大正〔來〕
 52 大正〔無〕
 53 大正〔無〕
 54 大正〔無〕
 55 大正〔輕〕
 56 大正〔屬〕
 57 大正〔屬〕
 58 大正〔無〕
 59 大正〔來〕
 60 大正〔斷〕
 61 大正〔來〕

- 4 是⁸²无⁸²記答彼俱相違義一切一分是⁸²无⁸²記復
- 5 有差別謂離過失義及過失功德對治⁸³隨⁸³順
- 6 義是善與此相違義是不善彼俱相違義是⁸⁴无⁸⁴記
- 7 問何義幾蘊是學答學方便善義一切一分
- 8 是學問何義幾蘊是⁸⁵无⁸⁵學答學究竟善義一
- 9 切一分是⁸⁶无⁸⁶學問何義幾蘊是非學非⁸⁶无⁸⁶學
- 10 答離前二種所有善染污⁸⁷无⁸⁷記法義一切一
- 11 分是非學非⁸⁸无⁸⁸學
- 12 問何義幾蘊是見所⁸⁹断⁸⁹答現觀智諦現觀所
- 13 應⁹⁰断⁹⁰義一切一分是見所⁹¹断⁹¹問何義幾蘊是
- 14 修所⁹²断⁹²答從現觀後修道所⁹³断⁹³義一切一分
- 15 是修所⁹⁴断⁹⁴問何義幾蘊是⁹⁵无⁹⁵断⁹⁵答一切染污
- 16 永⁹⁶断⁹⁶對治義及已⁹⁷断⁹⁷義一切一分是⁹⁸无⁹⁸断⁹⁸
- 17 問何義幾蘊是⁹⁹无⁹⁹色等答如前所說色等相
- 18 違義當知是¹⁰⁰无¹⁰⁰色等義如是等類應當分別
- 19 諸蘊差別
- 20 問如說積聚義是蘊義何等名為¹⁰¹積聚義¹⁰¹邪¹⁰¹

62 大正〔無〕
 63 大正〔無〕
 64 大正〔隨〕
 65 大正〔無〕
 66 大正〔無〕
 67 大正〔無〕
 68 大正〔無〕
 69 大正〔無〕
 70 大正〔無〕
 71 大正〔斷〕
 72 大正〔斷〕
 73 大正〔斷〕
 74 大正〔斷〕
 75 大正〔斷〕
 76 大正〔斷〕
 77 大正〔無〕
 78 大正〔斷〕
 79 大正〔斷〕
 80 大正〔斷〕
 81 大正〔無〕
 82 大正〔斷〕
 83 大正〔無〕
 84 大正〔無〕
 85 大正〔爲〕
 86 大正〔耶〕

- 22 答種種所召體義更互和雜轉義一類總略
- 23 義增益損減義是積聚義
- 24 問何緣色蘊說名為為色答於彼彼方所種殖

(第七紙) T30p608c21~

- 1 增長義及變礙義故名為色此變礙義復有
- 2 二種一手等所觸便變壞為義二方處差別種
- 3 種相義
- 4 問何緣四无色蘊總說名名答順趣種種所
- 5 緣境義依言說名分別種種所緣境義故說
- 6 為為名
- 7 問諸蘊誰所攝為何義故建立攝邪答自性
- 8 所攝非他性為遍了知種種自類是故建立
- 9 問諸法誰相應為何義故建立相應答他性
- 10 相應非自性為遍了知依自性清淨為心有染
- 11 不染法若增若減是故建立
- 12 有一沙門若婆羅門欲令名中唯心實有非
- 13 諸心法此不應理何以故且說諸蘊有五種
- 14 性不成就故又若彼計分位別故有五性者
- 15 分位別計亦有過失何以故是諸分位展轉
- 16 相望作用差別若有若无皆成失故若言有
- 17 者由相異故便應有異實物體性若言无者
- 18 計分位別則為唐捐又不應謂如六識身分
- 19 位差別何以故由六識身所依所緣有差別

87 大正〔總〕
 88 大正〔為〕
 89 大正〔為〕
 90 大正〔壞〕
 91 大正〔無〕
 92 大正〔總〕
 93 大正〔為〕
 94 大正〔為〕
 95 大正〔耶〕
 96 大正〔為〕
 97 大正〔為〕
 98 大正〔為〕
 99 大正〔淨〕
 100 大正〔所〕
 101 大正〔無〕
 102 大正〔無〕
 103 大正〔為〕

- 20 故是諸分位一處可得故不應理若謂轉變
- 21 亦不應理何以故於有色物可轉變故得有
- 22 分位前後差別非於无¹¹⁰色有如乳酪生酥等
- 23 異又心因緣无¹⁰⁵差別故行別分位不應道理
- 24 於一刹那必不可得差別因緣合彼分位而有

(第八紙) T30p609a17~

- 1 差別是故汝計分位差別不應道理又違教
- 2 故唯心實有不應道理違何等教謂如經¹⁰⁸言
- 3 貪瞋癡等惱染其心令不解脫問此中何所
- 4 相違答若唯有心二不俱有是即貪等應不
- 5 依識若汝復謂以識為¹⁰⁷先亦不應理无¹⁰⁶差別
- 6 過前已說故又復經¹⁰⁹言與觸俱生受想思等
- 7 又餘經¹¹⁰說如是諸法恒共和合非不和合不
- 8 可說言如是諸法而可分析令別殊異又佛
- 9 世尊為¹¹¹欲成立此和合義說燈明喻是故不
- 10 可離彼俱生而說和合雖復經¹¹²言如是六界
- 11 說名士夫然密意說故无¹¹³過失問此中有何
- 12 密意答唯欲顯說色動心所最勝所依當知
- 13 知¹¹⁴是名此經¹¹⁵密意復有違彼聖教可得何等
- 14 聖教謂世尊言乳酪生酥¹¹⁶三譬喻故或有處
- 15 所麁四大種以之為¹¹⁷我或有處所有色意生
- 16 或有處所无¹¹⁸色想生如是經¹¹⁹意豈唯大種或
- 17 唯有心唯有想邪¹²⁰是故當知如是等經¹²⁰皆有

- 104 大正〔無〕
- 105 大正〔無〕
- 106 大正〔經〕
- 107 大正〔爲〕
- 108 大正〔無〕
- 109 大正〔經〕
- 110 大正〔經〕
- 111 大正〔爲〕
- 112 大正〔經〕
- 113 大正〔無〕
- 114 右に「ム」(黒書)あり、大正「知」欠。
- 115 大正〔經〕
- 116 大正〔爲〕
- 117 大正〔無〕
- 118 大正〔經〕
- 119 大正〔耶〕
- 120 大正〔經〕

- 18 密意故名所攝四**无**¹²¹色蘊心與心**法**¹²²更互相
 19 應道理成就中喞挖南曰
 20 五種性不成 分位差過失 因緣**无**¹²³別故 與聖教相違
 21 如是已決擇蘊事善巧界事善巧今當決擇
 22 問何等是眼界答若眼未**断**¹²⁴或復**断**¹²⁵已命根
 23 攝受如眼界乃至意識界及法界一分當知
 24 亦**亦**¹²⁶問何等是色界答若色根增上所生若

(第九紙) T30p609b14~

- 1 彼於此**為**¹²⁷增上是名色界如色界乃至觸界
 2 當知亦**亦**¹²⁸
 3 問此十八界幾是實有幾是假有答實有者
 4 或十七或十二六**為**¹²⁹一故一**為**¹³⁰六故此約世
 5 俗安立道理
 6 問若有眼亦眼界**邪**¹³¹設有眼界亦眼**邪**¹³²答應
 7 作四句或有眼非眼界謂阿羅漢最後眼是
 8 名初句或有眼界非眼謂生有色界若眼未
 9 生或生已失或不得眼或眼**无**¹³³間滅若諸異
 10 生生**无**¹³⁴色界是第二句或有眼亦眼界謂除
 11 **亦**¹³⁵所相是第二句或有**无**¹³⁶眼亦**无**¹³⁷眼界謂阿
 12 羅漢眼已失**壞**¹³⁸或不生眼若生**无**¹³⁹色界或於
 13 **无**¹⁴⁰餘依涅槃界已般涅槃是第四句如眼界

121 大正〔無〕
 122 大正〔所〕
 123 大正〔無〕
 124 大正〔斷〕
 125 大正〔斷〕
 126 大正〔爾〕
 127 大正〔爲〕
 128 大正〔爾〕
 129 大正〔爲〕
 130 大正〔爲〕
 131 大正〔耶〕
 132 大正〔耶〕
 133 大正〔無〕
 134 大正〔無〕
 135 大正〔爾〕
 136 大正〔無〕
 137 大正〔無〕
 138 大正〔壞〕
 139 大正〔無〕
 140 大正〔無〕

- 14 一切內界隨¹⁴¹其所應當知亦¹⁴²身界應分別
- 15 謂¹⁴³先來¹⁴⁴不生身者餘隨¹⁴⁵所應當具宣說於
- 16 四外界隨¹⁴⁶其所應亦當具說若聲聲界正宣
- 17 擊時當言俱有若不宣擊當言隨¹⁴⁷逐餘界唯
- 18 界非聲

- 19 問此十八界幾是同分幾彼同分答有識眼
- 20 界名¹⁴⁸為¹⁴⁹同分所餘眼界名彼同分如眼界乃
- 21 至身界亦¹⁵⁰唯根所攝內諸界中思量同分

(第十紙) T30p609c06~

- 1 及彼同分非於色等外諸界中當知法界諸
- 2 有所緣如心界說諸¹⁵¹所緣如色等說
- 3 問幾界合而能取幾界不合能取答六合能
- 4 取四不合能取五及一少分非能取一界若
- 5 合不合二俱能取問幾唯所取非能取幾亦
- 6 所取亦能取¹⁵²答一切皆所取謂五及一少
- 7 分唯所取十二及一少分亦是能取問幾由
- 8 助伴故能取幾獨能取¹⁵³答十及一少分由
- 9 助伴故能取一及一少分獨能取
- 10 問幾唯欲界繫答四問幾唯色界繫答¹⁵⁴問
- 11 幾唯¹⁵⁵色界繫答亦¹⁵⁶問幾唯欲色界繫答
- 12 十一問幾唯色¹⁵⁷色界繫答¹⁵⁸問幾通三界
- 13 繫答三
- 14 問幾執受幾非執受答五執受五執受非執

141 大正〔隨〕
 142 大正〔爾〕
 143 大正〔無〕
 144 大正〔來〕
 145 大正〔隨〕
 146 大正〔隨〕
 147 大正〔隨〕
 148 大正〔爲〕
 149 大正〔爾〕
 150 大正〔無〕
 151 大正〔耶〕
 152 大正〔耶〕
 153 大正〔無〕
 154 大正〔無〕
 155 大正〔無〕
 156 大正〔無〕
 157 大正〔無〕

- 15 受所餘一向非執受何以故以離於彼餘能
- 16 執受執受於彼不可得故
- 17 云何種種界謂即十八界展轉異相性云何
- 18 非一界謂即彼諸界无168量有情種種差別所
- 19 依住性云何无169量界謂168彼二名无169量界如
- 20 佛世尊於惡又聚喻中說我於諸界終不宣
- 21 說界有邊際中喞陀南曰
- 22 何等實有性 四句與同分 取界執受非 種種等非一
- 23 問何等是界義答因義種子義本性義種性162
- 24 義微細義任持義是界義

(第十一紙) T30p610a02~

- 1 問以何義故涅槃虛空亦說名界答由彼能
- 2 持苦不生義持身眼等運動用義
- 3 問為163顯何義建立界邪164答為163顯因緣義及顯
- 4 根境受用義
- 5 問此十八界由誰分別答若略說當知由六
- 6 種一法界謂眼等法有眼等界二淨165界謂住
- 7 種性167補特伽羅所有諸界三本性界謂即如
- 8 所說十八界无168始時来169於後後生其性成就
- 9 及住種性170不住種性171補特伽羅无172始時来173涅槃
- 10 槃非涅槃法其性成就四熏習界謂即此諸
- 11 界淨174不淨175法先所熏習於生死中得勝劣生

158 大正〔無〕
 159 大正〔無〕
 160 大正〔總〕
 161 大正〔無〕
 162 大正〔性〕
 163 大正〔爲〕
 164 大正〔耶〕
 165 大正〔爲〕
 166 大正〔淨〕
 167 大正〔性〕
 168 大正〔無〕
 169 大正〔來〕
 170 大正〔性〕
 171 大正〔性〕
 172 大正〔無〕
 173 大正〔來〕
 174 大正〔淨〕
 175 大正〔淨〕

- 12 涅槃因性五已與果界謂即此諸界感果已
- 13 滅六未與果界謂即此諸界未感得果或滅
- 14 未滅如是略說諸界有六種若廣說者其數
- 15 无¹⁷⁶量
- 16 問此十八界幾有色幾无¹⁷⁷色乃至幾无¹⁷⁸断¹⁷⁹邪¹⁸⁰
- 17 答如前所說相應隨¹⁸¹順建立
- 18 問如說眼見諸色乃至意了諸法此為¹⁸²眼等
- 19 是見者乃至是了者邪¹⁸³為¹⁸⁴彼識邪¹⁸⁵答約勝義
- 20 道理非是眼等亦非彼識何以故諸法自性
- 21 衆緣生故剎那滅故无¹⁸⁶作用故約世俗道理
- 22 眼等最勝故可於彼立見者等何以故若有
- 23 眼等諸根識決定生无¹⁸⁷所缺滅或有識流非
- 24 眼等根若缺不缺俱可得故此中實義唯於

(第十一紙) T30p610a27~

- 1 見等說見者等
- 2 問此十八界幾種次第宣說因緣此復何等
- 3 答略有二種一三種次第宣說因緣二六種
- 4 次第宣說因緣云何三種次第宣說因緣謂
- 5 所依境界俱依差別故所以者何由識與根
- 6 同一處義故說名依境界是所緣義故亦名
- 7 依云何六種次第宣說因緣謂彼所行衆多
- 8 差別數數行故先說眼等是初因緣又隨¹⁸⁸世
- 9 間俗事轉故說彼次第由諸世間先互相見
- 10 次相慰問次設飲¹⁸⁹食次過晝分夜分現前敷
- 11 設種種軟妙臥具氈褥被枕觸習侍女是第

176 大正〔無〕
 177 大正〔無〕
 178 大正〔無〕
 179 大正〔斷〕
 180 大正〔耶〕
 181 大正〔隨〕
 182 大正〔爲〕
 183 大正〔耶〕
 184 大正〔爲〕
 185 大正〔耶〕
 186 大正〔無〕
 187 大正〔無〕
 188 大正〔隨〕
 189 大正〔飲〕

- 12 二因緣又喜樂差別為¹⁹⁸依止故次第宣說是
- 13 第三因緣又嚴飾差別所攝受故次第宣說
- 14 諸受欲者必以安繕那等先莊眉眼次以耳
- 15 璫耳輪等莊嚴其耳非於餘根如是嚴飾是
- 16 第四因緣又依作業飲¹⁹⁷食習欲等事次第宣
- 17 說由諸衆生皆先依止身語二業若淨¹⁹²不淨¹⁹³
- 18 方便勤求次食段食既飽醉已習近諸欲是
- 19 第五因緣又由作業差別攝受故次第宣說所
- 20 以者何由眼能見種種諸色往還无¹⁹⁴失威儀
- 21 不亂記憶他身曾¹⁹⁵見不見及怨親中了悟方
- 22 所宣示於他起想言說觀衆舞¹⁹⁶樂角力戲等
- 23 廣受種種世間喜樂長養依身如是等類有
- 24 无¹⁹⁵量種眼界作業由耳能聞種種音聲因此

(第十一紙) T30p610b23~

- 1 了悟善說惡說種種義理起諸言論因聞種
- 2 種微妙樂音廣受種種世間喜樂長養依身
- 3 如是等類耳界作業比前狹劣鼻界能顛¹⁹⁸種
- 4 種諸香尋香而往受諸喜樂長養依身如是
- 5 等類鼻界作業方前狹劣舌界能嘗種種諸
- 6 味受諸喜樂長養依身如是等類舌界作業
- 7 方前狹劣身界能觸種種所觸受諸喜樂雖
- 8 能長養依身然彼樂具或於一時復為¹⁹⁹損害
- 9 如是等類身界作業最為²⁰⁰狹劣是名第六次
- 10 第宣說因緣於此眼等六種因緣差別中意
- 11 遍行故最後宣說為²⁰¹攝如是次第因緣中喟
- 12 挖南曰

190 大正〔爲〕
 191 大正〔飲〕
 192 大正〔淨〕
 193 大正〔淨〕
 194 大正〔無〕
 195 大正〔會〕
 196 大正〔舞〕
 197 大正〔無〕
 198 大正〔嗅〕
 199 大正〔爲〕
 200 大正〔爲〕
 201 大正〔爲〕

13 衆多順世俗 喜樂與莊嚴 隨²⁰²二種作業 故次第宣說

14 復次此十八界當知能攝一切經²⁰³中所說餘

15 界

16 問生色界者已於境界而得離欲何緣復生

17 鼻舌兩界答為²⁰⁴令所依身端嚴故又色界中

18 於此二種未離欲故

19 問生第二靜²⁰⁵慮或生上地若有尋有伺眼等

20 識現在前云何此地无²⁰⁶尋无²⁰⁷伺若不現前云

21 何於彼有色諸根而能領受彼地境界答由

22 有尋有伺諸識種子隨²⁰⁸逐无²⁰⁹尋无²¹⁰伺二摩地

23 故從彼起已此得現前又此起已識現行時

24 復為²¹¹无²¹²尋无²¹³伺二摩地種子之所隨²¹⁴遂是故

(第十四紙) T30p610c18~

1 此地非是一向无²¹⁵尋无²¹⁶伺由彼有情於諸尋

2 伺以性離欲而離欲故彼地雖名无²¹⁷尋无²¹⁸伺

3 此復現行亦无²¹⁹過失問何緣眼界耳界鼻界

4 各生二分非餘答為²²⁰令依止得端嚴故

5 問眼耳與鼻諸識生時為²²¹依二分當言一邪²²²

6 當言一邪²²³答當言唯一何以故若彼一分无²²⁴

202 大正〔隨〕

203 大正〔經〕

204 大正〔爲〕

205 大正〔靜〕

206 大正〔無〕

207 大正〔無〕

208 大正〔隨〕

209 大正〔無〕

210 大正〔無〕

211 大正〔爲〕

212 大正〔無〕

213 大正〔無〕

214 大正〔隨〕

215 大正〔無〕

216 大正〔無〕

217 大正〔無〕

218 大正〔無〕

219 大正〔無〕

220 大正〔爲〕

221 大正〔爲〕

222 大正〔耶〕

223 大正〔耶〕

224 大正〔無〕

7 障不壞²³⁵ 識明了生若彼有障或復失壞²³⁶ 識不

8 明了生故又識非色故无²³⁷ 有如色由方所別

9 成二分義

10 問眼與眼識若是因果云何俱有若俱有者

11 云何得成因果兩性答識依眼生非如種牙²³⁸

12 因果道理何以故眼與眼識非正生因唯建

13 立因是故此二俱時而有因果性成猶如燈

14 焰光明道理如眼與眼識耳鼻舌身與彼諸

15 識當知亦余²³⁹ 若異此者雖有自種无²³⁹ 所依故

16 眼等諸識應不得生

17 問若於欲界或生或長當言眼界決定轉邪²³¹

18 答此非一向如眼界耳鼻舌界及彼識界當

19 知亦余²³² 身界決定轉如是身識界意界法界

20 意識界色聲香味觸界亦余²³³

21 問若於色界或生或長當言眼界決定轉邪²³⁴

22 答決定轉如眼界如是耳鼻舌身身界眼耳身

23 識界亦余²³⁵ 除香味界及彼識界餘一切界亦

24 決定轉於无²³⁶ 色界或生或長除意界法界意

(第十五紙) T30p61a14~

1 識界餘定不轉唯除自在所獲諸色當知三

2 界於彼定轉

3 界事善巧如蘊善巧亦應宣說嚙挖南頌如

4 界善巧處事善巧嚙挖南頌當知亦余²³⁷

5 云何眼處謂若眼已得不捨於无²³⁸ 間體非斷²³⁹

225 大正「壞」

226 大正「壞」

227 大正「無」

228 大正「芽」

229 大正「爾」

230 大正「無」

231 大正「耶」

232 大正「爾」

233 大正「爾」

234 大正「耶」

235 大正「爾」

236 大正「無」

237 大正「爾」

238 大正「無」

239 大正「斷」

- 6 滅法如眼處相餘處自性當知亦²¹⁰余
- 7 問處觸處何差別答處如前說觸處者謂與
- 8 觸俱或能²¹¹无²¹¹間引發諸觸²¹²隨²¹³順於觸所有諸處
- 9 處
- 10 問若眼亦處²¹³邪²¹³設處亦眼²¹⁴邪²¹⁴答有眼非處謂若眼已得不捨然是²¹⁵无²¹⁵間²¹⁶斷²¹⁶滅之法有處非眼謂所餘處安住處相有亦眼亦處謂若眼已得不捨亦非²¹⁷无²¹⁷間²¹⁸斷²¹⁸滅之法有非眼非處謂若眼不得或得已捨及餘耳等不住處相
- 15 問若處亦觸處²¹⁹邪²¹⁹設觸處亦處²²⁰邪²²⁰答諸觸處必是處有處非觸處謂眼等不與觸合亦復
- 17 不能引²²¹无²²¹間²²²觸²²²然非²²³无²²³間²²⁴斷²²⁴滅之法若於色界或生或長所有鼻舌若生²²⁵无²²⁵想²²⁶有情天中所有諸根於一切時當知必定非處
- 20 問處名何義²²⁵為²²⁵顯何義建立處²²⁶邪²²⁶答諸心心法²²⁷生長門義緣義方便義和合性義所依止
- 22 義居住處義是名處義²²⁸為²²⁸欲顯示等²²⁹无²²⁹間²³⁰所緣增上三種緣義故建立處廣分別處及次
- 24 第²³⁰隨²³⁰其所應如界當知

(第十六紙) T30p611b10~

240 大正〔爾〕
 241 大正〔無〕
 242 大正〔隨〕
 243 大正〔耶〕
 244 大正〔耶〕
 245 大正〔無〕
 246 大正〔斷〕
 247 大正〔無〕
 248 大正〔斷〕
 249 大正〔耶〕
 250 大正〔耶〕
 251 大正〔無〕
 252 大正〔無〕
 253 大正〔斷〕
 254 大正〔無〕
 255 大正〔爲〕
 256 大正〔耶〕
 257 大正〔所〕
 258 大正〔爲〕
 259 大正〔無〕
 260 大正〔隨〕

- 1 又世尊言有八勝處廣說如經²⁶¹如是十遍處
- 2 又有四處謂空无²⁶²邊處等又有二處謂无²⁶³想
- 3 處非想非非想處如是等法處名說者如所
- 4 說相隨²⁶⁴其所應當知皆在十二處攝又處依
- 5 止如界應知
- 6 復次云何名緣生法謂无²⁶⁵主宰无²⁶⁶有作者无²⁶⁷
- 7 有受者无²⁶⁸自作用不得自在從因而生託衆
- 8 緣轉本无²⁶⁹而有有已散滅唯法所顯唯法能
- 9 潤唯法所潤隨²⁷⁰在相續如是等相名緣生法
- 10 當知此中因名緣起果名緣生此无²⁷¹明隨²⁷²眠
- 11 不断²⁷³有故彼无²⁷⁴明纏²⁷⁵有此无²⁷⁶明纏²⁷⁷生故彼諸
- 12 行轉如是諸行種子不断²⁷⁸故諸行得生諸行
- 13 生故得有識轉如有所餘諸緣起支流轉道
- 14 理如其所應當知亦尔²⁷⁹
- 15 當知有生及老死支是假有法所餘有支是
- 16 實有法
- 17 復由五相建立緣起差別何等為²⁸⁰五一衆苦
- 18 引因依處二衆苦生因依處三衆苦引因四
- 19 衆苦生因五衆苦生起衆苦引因依處者謂
- 20 於現法中名色為²⁸¹緣六處生起不断²⁸²不知此

261 大正〔經〕
 262 大正〔無〕
 263 大正〔無〕
 264 大正〔隨〕
 265 大正〔無〕
 266 大正〔無〕
 267 大正〔無〕
 268 大正〔無〕
 269 大正〔無〕
 270 大正〔墮〕
 271 大正〔無〕
 272 大正〔隨〕
 273 大正〔斷〕
 274 大正〔無〕
 275 大正〔纏〕
 276 大正〔無〕
 277 大正〔纏〕
 278 大正〔斷〕
 279 大正〔爾〕
 280 大正〔爲〕
 281 大正〔爲〕
 282 大正〔斷〕

- 21 為²⁸³所緣及依處故一切愚夫於內自體愚癡
 22 生起是名无²⁸⁴明无²⁸⁵明緣故次後諸行乃至後
 23 時有觸緣受此中六處名无²⁸⁶明等引因依處
 24 衆苦生因依處者謂諸愚夫觸為²⁸⁷緣故於現

(第十七紙) T30p61c06~

- 1 法中諸受生起此為²⁸⁸依處於外境界發起諸
 2 愛由愛為²⁸⁹緣次後有取取為²⁹⁰緣故次後有有
 3 如是愛等三種生因用觸緣受為²⁹¹所依處衆
 4 苦引因者謂无²⁹²明緣行乃至觸緣受現法中
 5 識為²⁹³福非福及不動業之所熏習後後種子
 6 之所隨²⁹⁴逐能引當來²⁹⁵餘身識等生老死苦是
 7 故說此為²⁹⁶彼引因衆苦生因者謂受緣愛愛
 8 緣取取緣有是名當來²⁹⁷衆苦生因即先所作
 9 業為²⁹⁸煩惱攝受未來²⁹⁹世生將現前故當知名
 10 有衆苦生起者謂有緣生緣老死如是名
 11 為³⁰⁰衆苦生起即識名色六處觸受先種子性
 12 隨³⁰¹所依時曾³⁰²得衆苦引因之名今已與果名
 13 生老死復得苦名
 14 復次當知无³⁰³明智所對治別有心法³⁰⁴覆蔽為³⁰⁵

283 大正〔爲〕
 284 大正〔無〕
 285 大正〔無〕
 286 大正〔無〕
 287 大正〔爲〕
 288 大正〔爲〕
 289 大正〔爲〕
 290 大正〔爲〕
 291 大正〔爲〕
 292 大正〔無〕
 293 大正〔爲〕
 294 大正〔隨〕
 295 大正〔來〕
 296 大正〔爲〕
 297 大正〔來〕
 298 大正〔爲〕
 299 大正〔來〕
 300 大正〔爲〕
 301 大正〔隨〕
 302 大正〔會〕
 303 大正〔無〕
 304 大正〔所〕
 305 大正〔爲〕

- 15 性非唯明³⁰⁶ 亦非邪智何以故若彼³⁰⁷ 明唯
- 16 明³⁰⁸ 者應不可立軟中上品由³⁰⁹ 无³¹⁰ 性法都³¹⁰ 无
- 17 軟中上品異故又不可立³¹¹ 无³¹¹ 明³¹² 隨³¹² 眠與³¹³ 纏³¹³ 差
- 18 別由³¹⁴ 无³¹⁴ 性法於一切時其相相似現行³¹⁵ 隨³¹⁵ 縛³¹⁶
- 19 不可建立又異生心善染³¹⁷ 无³¹⁷ 記於一切處常
- 20 離慧明若此³¹⁸ 无³¹⁸ 性是³¹⁹ 无³¹⁹ 明者應一切心皆成
- 21 染污又³²⁰ 无³²⁰ 性法非有³²¹ 為³²¹ 攝非³²² 无³²² 為³²³ 攝既非有³²⁴ 為³²⁴
- 22 无³²⁵ 為³²⁵ 所攝不能³²⁶ 為³²⁶ 染亦不³²⁷ 為³²⁷ 淨³²⁸ 又於離明心
- 23 相續中應一切時明不得起又不應說³²⁹ 无³²⁹ 明³³⁰
- 24 滅故明得生起所以者何³³¹ 无³³¹ 有³³² 无³³² 法而可滅

(第十八紙) T30p612a03~

- 1 故若唯邪智是³³³ 无³³³ 明者³³⁴ 為³³⁴ 除慧明所攝諸智
- 2 餘一切智皆邪智³³⁵ 邪³³⁵ 為³³⁶ 唯染污邪執性智是

306 大正〔無〕
 307 大正〔無〕
 308 大正〔無〕
 309 大正〔無〕
 310 大正〔無〕
 311 大正〔無〕
 312 大正〔隨〕
 313 大正〔纏〕
 314 大正〔無〕
 315 大正〔隨〕
 316 大正〔轉〕
 317 大正〔無〕
 318 大正〔無〕
 319 大正〔無〕
 320 大正〔無〕
 321 大正〔為〕
 322 大正〔無〕
 323 大正〔為〕
 324 大正〔為〕
 325 大正〔無〕
 326 大正〔為〕
 327 大正〔為〕
 328 大正〔為〕
 329 大正〔淨〕
 330 大正〔無〕
 331 大正〔無〕
 332 大正〔無〕
 333 大正〔無〕
 334 大正〔為〕
 335 大正〔耶〕
 336 大正〔為〕

- 3 邪智邪337為338諸煩惱相應邪智是邪智邪339若言
- 4 初智是邪智者一切異生相續中智皆應邪
- 5 智若善若无340記此不應道理若唯染汚邪執
- 6 性智是邪智者唯應五見薩迦邪341等名染性
- 7 智此中如實不了行相是名无342明由有如實
- 8 不了行故邪執事相是名為343見謂薩迦邪344見
- 9 由无345明力執我所如是餘見各於自事邪
- 10 執行轉然彼諸見不離愚癡由癡與見行相
- 11 各別是故此五染汚性智名為346无347明不應
- 12 道理又若无348明與諸見相无349差別者世尊不
- 13 應七隨350眠中於无351明外立見隨352眠又佛世尊
- 14 曾无353一處於諸見上示无354明名若諸煩惱相
- 15 應邪智是无355明者薩迦邪356等五種邪見智為357
- 16 自性无358二智體俱有相應是則諸見應與无360
- 17 明常不相應又若貪等煩惱力故令相應智
- 18 成愚癡性即應貪等增上力故得有愚癡非
- 19 癡增上癡為361導首故有貪等一切煩惱又應
- 20 可說如餘煩惱相應之慧由相應故得成染
- 21 汚非彼自性非愚癡體可成癡性又如諸餘

337 大正〔耶〕
 338 大正〔爲〕
 339 大正〔耶〕
 340 大正〔無〕
 341 大正〔耶〕
 342 大正〔無〕
 343 大正〔爲〕
 344 大正〔耶〕
 345 大正〔無〕
 346 大正〔爲〕
 347 大正〔無〕
 348 大正〔無〕
 349 大正〔無〕
 350 大正〔隨〕
 351 大正〔無〕
 352 大正〔隨〕
 353 大正〔會〕
 354 大正〔無〕
 355 大正〔無〕
 356 大正〔無〕
 357 大正〔耶〕
 358 大正〔爲〕
 359 大正〔無〕
 360 大正〔無〕
 361 大正〔爲〕

- 22 煩惱相應非煩惱性諸心心法³⁶³是故當知別
- 23 有³⁶³无³⁶³明是心法³⁶⁴性與心相違³⁶⁵
- 24 如世尊言行有三種謂身行語行意行當知

(第十九紙) T30p612a28~

- 1 此中入出息風名為³⁶⁶身行風為³⁶⁷導首身業轉
- 2 故身所作業亦名身行由愚癡者先起³⁶⁸隨³⁶⁹順
- 3 身業風已然後方起染汚身業如入出息能
- 4 起身業故名身行如是尋伺與諸語業俱名
- 5 語行受想與意業俱名意行如是一切³⁷⁰總³⁷¹說
- 6 身行語行意行
- 7 諸有³⁷²隨³⁷³生何界何地當知有支即此所攝
- 8 復次十二支中二業所攝謂行及有三煩惱
- 9 攝謂³⁷⁴无³⁷⁵明愛取當知所餘皆事所攝又二業
- 10 中初是引業所攝謂行後是生業所攝謂有
- 11 三煩惱中一能發起引業謂³⁷⁶无³⁷⁷明二能發起
- 12 生業謂愛取餘事所攝支中二是未³⁷⁸來³⁷⁹苦支
- 13 所攝謂生老死五是未³⁸⁰來³⁸¹苦因所攝謂現法
- 14 中從行緣識乃至觸緣受又即五支亦是現
- 15 在苦支所攝由先世因今得生起果異熟攝
- 16 謂識名色六處觸受又現在果所攝五支及
- 17 未³⁸²來³⁸³果所攝二支³⁸⁴總³⁸⁵名果所攝緣起當知餘
- 18 支是因所攝緣起
- 19 復次³⁸⁶无³⁸⁷知略於五處為³⁸⁸能生因一能生疑二

362 大正〔所〕
 363 大正〔無〕
 364 大正〔所〕
 365 大正〔應〕
 366 大正〔爲〕
 367 大正〔爲〕
 368 大正〔隨〕
 369 大正〔總〕
 370 大正〔隨〕
 371 大正〔無〕
 372 大正〔無〕
 373 大正〔來〕
 374 大正〔來〕
 375 大正〔來〕
 376 大正〔總〕
 377 大正〔無〕
 378 大正〔爲〕

- 20 能生愛三能生非處信四能生見五能生增
- 21 上慢於前際等所有无³⁷⁹知是能生疑謂如是
- 22 疑我於過去曾³⁸⁰有邪³⁸¹為³⁸²曾³⁸³无³⁸⁴邪³⁸⁵如是等疑
- 23 於三世轉如經³⁸⁶廣說過去名前際未來³⁸⁷名後
- 24 際現在名前後際待過去世是後際待未來³⁸⁸

(第十一十紙) T30p612b23~

- 1 世是前際故若疑過去當知此疑前際无³⁸⁹知
- 2 所生若疑未來³⁹⁰當知此疑後際无³⁹¹知所生若
- 3 於內疑惑此誰所有我為³⁹²是誰今此有情從
- 4 何而來³⁹³於此沒已當往何所當知此疑是前
- 5 後際无³⁹⁴知所生又於內无³⁹⁵知於外无³⁹⁶知於內
- 6 外无³⁹⁷知當知能生內外等愛及後有愛喜貪
- 7 俱行愛彼彼喜樂愛³⁹⁸又若於業无³⁹⁹知於異熟
- 8 无⁴⁰⁰知於業異熟无⁴⁰¹知是諸有情由於業自造
- 9 无⁴⁰²知為⁴⁰³緣故於魯達羅天毘瑟笈天世主天
- 10 等非正處中生妄勝解歸依敬信又若於佛
- 11 等无⁴⁰⁴知乃至於道无⁴⁰⁴知當知能生諸見所以

379 大正〔無〕
 380 大正〔會〕
 381 大正〔耶〕
 382 大正〔爲〕
 383 大正〔會〕
 384 大正〔無〕
 385 大正〔耶〕
 386 大正〔經〕
 387 大正〔來〕
 388 大正〔來〕
 389 大正〔無〕
 390 大正〔來〕
 391 大正〔無〕
 392 大正〔爲〕
 393 大正〔來〕
 394 大正〔無〕
 395 大正〔無〕
 396 大正〔無〕
 397 大正〔無〕
 398 大正〔無〕
 399 大正〔無〕
 400 大正〔無〕
 401 大正〔無〕
 402 大正〔爲〕
 403 大正〔無〕
 404 大正〔無〕

- 12 者何由於三寶及四諦中不正通達故乃至
- 13 能生六十二見及起如是見立如是論无⁴⁰⁵施
- 14 无⁴⁰⁶愛乃至廣說所有邪見又若於因无⁴⁰⁷知於
- 15 因所生法善不善等无⁴⁰⁸知廣如經⁴⁰⁹說由此无⁴¹⁰
- 16 知故於往善趣道往善趣方便中生增上慢
- 17 所以者何由於善不善等法愛非愛果不如
- 18 實知故於自餓投火墜高巖等非方便中起
- 19 方便想行如是事以求生天又於六觸處中
- 20 所有无⁴¹¹知於不如實通達得沙門果中起增
- 21 上慢所以者何由實无⁴¹²有於六觸處如實通
- 22 達智而生增上慢故當知此中若生天方便
- 23 增上慢若沙門果增上慢總⁴¹³合此二名增上

(第十一紙) T30p612c18~

- 1 慢如是无⁴¹⁴明能生五種雜染謂疑雜染愛雜
- 2 染信解雜染見雜染增上慢雜染由疑雜染
- 3 所雜染故一切愚夫獲得疑惑信順於他引
- 4 趣異路於現法中多受苦惱不安隱⁴¹⁵住由愛
- 5 雜染所雜染故引生後有生老病等一切大
- 6 苦由信解雜染所雜染故或謂无⁴¹⁶因或計自
- 7 在天等不平等因謂為417正因撥无⁴¹⁸一切土用
- 8 而住由見雜染所雜染故隨⁴¹⁹意造作一切惡
- 9 行能感當來420諸惡421趣苦由增上慢雜染所雜

405 大正「無」
 406 大正「無」
 407 大正「無」
 408 大正「無」
 409 大正「經」
 410 大正「無」
 411 大正「無」
 412 大正「無」
 413 大正「總」
 414 大正「無」
 415 大正「隱」
 416 大正「無」
 417 大正「爲」
 418 大正「無」
 419 大正「隨」
 420 大正「來」
 421 大正「惡」

10 染故令士夫用異⁴²³无⁴²³果

11 復此緣起善巧如本地分已廣分別所餘

12 緣起⁴²⁴善起巧決擇文不復現

13 14 瑜伽師地論卷第五十六

15 16 皇后藤原氏光明子奉為⁴²⁵

17 尊孝贈正一位太政大臣府君尊妣

18 贈從一位橘氏太夫人敬寫一切經⁴²⁶

19 論及律莊嚴既了伏願憑斯勝因

20 奉資實助永庇菩提之樹長遊般

(第二十二紙)

1 若之津又願上奉 聖朝恒遠福壽下

2 及寮采共盡忠節又光明子自發

3 誓言弘濟沉淪勤除煩障妙窮諸

4 法早契菩提乃至傳燈无⁴²⁷窮流布

5 天下聞名持卷獲福消災一切迷方⁴²⁸

6 會歸覺路

天平十二年五月一日記

7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18

右に「果」(朱書)あり。大正「果」

423 大正「無」

424 大正「起」欠。

425 大正「爲」

426 大正「經」

427 大正「無」

428 大正「方迷」

22 21 20 19

(後補軸付紙)

大正八年十一月修理之

帝室博物館総長(醫學博士/文學博士) 森林太郎(花押)

董事奈良帝室博物館長久保田鼎(花押)